

平成 30 年度 思いやりデイサービス事業報告書

1. 運営状況の概要

富士市の委託による生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスは、平成 29 年度までは週 2 回利用できていたが、平成 30 年度からは富士市の方針で、要支援 2 の方を除き週 1 回の利用しかできなくなった。しかし、週 2 回の利用を望む利用者が多く、その要望に応えるため、鑑石園独自のサービスとして思いやりデイサービスを始めた。

平成 30 年 5 月に試験的に実施し、6 月から正式に開始した。幸い、開始時から 9 名の登録者がおり、平成 30 年度の 1 回あたり平均利用者数は 7.68 人となった。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質を向上させるための方策

① 職員信条について

職員信条を遵守する事で、高い意識と自覚のもと業務にあたった。

② 研修について

思いやりデイサービスは鑑石園独自の事業であるため、それについての特別な研修はないが、内容的には生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスとほぼ同じなので、生きがいデイサービス・健康づくりデイサービス関連の外部研修や内部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努めた。

5 月	健康づくりデイサービス・生きがいデイサービス 従事者研修	富士市保険部 高齢者支援課主催
2 月	生きがいデイサービス・健康づくりデイサービス 事業者連絡会	同上

(2) 介護予防に積極的に取り組むための方策

① 認知症予防について

- ・ 認知症を予防する為、日常生活・社会生活・情緒生活の機能低下の防止や、精神的安定・安心の場を提供するよう努めた。
- ・ 身体的・精神的な残存機能を活用した環境適応の学習(認知、感情の機能を刺激する)から、集団社会への所属意識を維持するよう努めた。

② 転倒予防について

身体機能からの対策として、バランス訓練・筋力増強・ストレッチング等下肢をはじめとする運動を取り入れ、筋力低下を予防するよう努めた。

(3) 業務改善

① 相談援助等の生活指導

利用者様の生活全般の相談に乗り、高齢者支援窓口と連携を取りながら適切な支援を行った。

② レクリエーション、趣味活動の充実

利用者様のニーズ・趣向に添った内容や、季節感を感じる内容等を取り入れ、利用者様の意欲を引き出すようプログラムを工夫した。

平成 30 年度 思いやりデイサービスの主な内容

4 月	(実施なし)
5 月	体操・脳トレクイズ・デザートバイキングなど
6 月	体操・脳トレクイズ・保育園児との交流など
7 月	体操・脳トレクイズなど
8 月	体操・脳トレクイズ・歌と踊りのボランティア(ゆりの会)など
9 月	体操・脳トレクイズなど
10 月	体操・脳トレクイズ・福祉展見学(中央公園歩行訓練)など
11 月	体操・脳トレクイズなど
12 月	体操・脳トレクイズ・ペットボトルボーリング大会など
1 月	体操・脳トレクイズなど
2 月	体操・脳トレクイズ・カラオケで合唱など
3 月	体操・脳トレクイズなど